

第2表 垂水市のサヤインゲン白化莢発生ほ場から採集したタバコナジラミバイオタイプBに対する各種薬剤の殺虫効果(卵後期処理, 2009年)

薬剤名	系統名	希釈倍数	供試卵数	未ふ化率 %	ふ化幼虫死亡率 %	卵～ふ化幼虫死亡率 %
アドマイヤー顆粒水溶剤		10,000	41	13	93	94
アクタラ顆粒水溶剤	ネオニコチノイド*	3,000	59	0	72	71
モスピラン水溶剤		2,000	73	7	98	99
カスケード乳剤	IGR	2,000	67	0	100	100
ダニトロンフロアブル	殺ダニ	1,000	46	0	99	99
パダンSG水溶剤	カルタップ°	1,500	86	81	89	98
アグロスリン乳剤	ピレスロイド*	2,000	38	0	32	30
トレボン乳剤		1,000	83	0	50	50
エルサン乳剤	有機リン	1,000	91	0	0	0
マラソン乳剤		2,000	45	0	0	0
アフーム乳剤	その他	2,000	64	1	100	100
無処理		—	40	4	0	4

注1) 3反復の平均値で示す。

注2) 処理区の死亡率は補正死亡率。

注3) 卵～幼虫の死亡率は、各ステージの供試虫数が異なるため卵と幼虫の和とならない。